

平成24年度事業評価シート

事業名	11100	簡易水道施設建設事業費	担当課	水道部 上水道課		内線	
	枝番					2254	
予算	会計	9	簡易水道事業特別会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	1	簡易水道事業費		分野	5	上・下水道
	項	1	簡易水道施設費		基本施策	1	安全で安心な水を安定して供給する
	目	1	簡易水道施設建設費		施策	2	給水施設の整備
根拠計画		高山市水道ビジョン、高山市水道事業整備5か年計画					
実施計画事業		配水管拡張整備事業、配水管布設替事業、簡易水道施設整備事業、水道施設維持修繕・改修事業、老朽管対策整備事業					
市長公約		6 市民の生活と生命・財産を守ります ・安全安心な上水道を提供するため、施設の整備を加速するとともに、未給水地域の解消に努めます。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	簡易水道利用者全員	対象者数	15,863 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・安全で安心な水を安定して供給する		
概要	事業の実施手法(手段)	・簡易水道施設の新設・改良整備を行う		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23の実績		川上簡易水道整備事業 牧ヶ洞浄水場整備工事 Ve=500m ³ 奥飛騨温泉郷簡易水道整備事業 平湯浄水場幹線改良工事 急速ろ過棟築造工N=1式、取水提梁造工N=1式 配水池等の機器更新工事 4箇所 配水管布設替工事 L=265m 配水管布設工事 L=133m				
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24
	活動指標	管路整備・改良延長	m	目標値	440	480	950
				実績値	567	398	-
		算出根拠等		達成率(%)	129	83	-
	成果指標	給水人口	人	目標値	24,335	18,798	18,798
				実績値	20,622	15,863	-
		算出根拠等	現在給水人口	達成率(%)	85	84	-
	成果指標	水道施設耐震化率	%	目標値	100.0	100.0	100.0
				実績値	80.0	79.0	-
		算出根拠等		達成率(%)	80	79	-
				目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			
			実績値			-	
	算出根拠等		達成率(%)			-	
補足事項							
各種計画に基づいた施設整備を着実に実施している							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額		
	歳出(千円)		(A)	148,803	265,536	360,209	
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)		46,003	18,936	23209	
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)		102,800	246,600	337,000	
	一般財源						
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	7,216	16,739	22,707	
	受益者	給水人口	(B)	20,622	15,863	15,863	

3 分析・評価(Check) ※平成23年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・安全安心な上水道ということについての市民ニーズは高く、安定的に必要性が認められる
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・安全安心な上水道の供給は市の重要な責務である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進めており、目的とする成果があがっている
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・工事にあたっては、コスト縮減を図っており、施設の統廃合等も視野に入れ、効率的な施設整備を行っている
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・市長公約である「安全安心な上水道の提供」の実現に効果があった
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)
平成27年度の上水道への全統合を控え、更に効率的な施設となるよう、水需要の見極めと管理コストの縮減につながるような施設等の統廃合を進める必要がある

(参考) H23事業評価結果(二次評価)
・老朽施設の整備・改修については、長期的視点に立って計画的に実施する必要がある
・水道ビジョンに基づく平成26年度までの上水道事業への段階的統合を進めるため、資産台帳整備や水源・施設の統廃合などの調整を着実に進める必要がある

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況
奥飛騨温泉郷簡易水道平湯浄水場及び本郷簡易水道長倉浄水場の施設工事が今年度完了予定。また、道路改良に伴う布設替や老朽管の布設替により、安全安心な上水道の提供に取り組んでいる

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H24完了予定
	総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進める 宮簡易水道、奥飛騨温泉郷簡易水道(中尾)、荘川簡易水道(六蔵)等の施設整備を実施するとともに、老朽管の布設替や老朽化した機械設備を更新する				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H24完了予定
	・老朽施設の整備・改修については、長期的視点に立って計画的に実施する必要がある。				

平成24年度事業評価シート

事業名	21100	簡易水道一般管理事業費	担当課	水道部 上水道課		内線 2254	
	枝番						
予算	会計	9	簡易水道事業特別会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	2	総務費		分野	5	上・下水道
	項	1	総務管理費		基本施策	1	安全で安心な水を安定して供給する
	目	1	一般管理費		施策	3	経営の安定
根拠計画		高山市水道ビジョン、高山市水道事業整備5か年計画					
実施計画事業		水道施設等管理事業、水道施設維持修繕・改修事業					
市長公約		6 市民の生活と生命・財産を守ります ・安全安心な上水道を提供するため、施設の整備を加速するとともに、未給水地域の解消に努めます。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	簡易水道利用者全員	対象者数	15,863 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・安全で安心な水を安定して供給する		
概要	事業の実施手法(手段)	・簡易水道施設の維持管理、修繕を行う ・取水から配水池までの管理は指定管理者が実施し、配水管以降は市が管理する		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23の実績		水道料金現年度分収納率 98.9% 指定管理委託料 77,000千円 施設等修繕 81件 29,607千円				
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24
	活動指標	給水普及率	%	目標値	100	100	100
				実績値	99	96	-
	算出根拠等	現在給水人口/給水区域内人口		達成率(%)	99	96	-
				目標値	24,335	18,798	18,798
	成果指標	給水人口	人	実績値	20,622	15,863	-
				達成率(%)	85	84	-
	算出根拠等	現在給水人口		目標値	100.0	100.0	100.0
				実績値	98.6	98.9	-
	成果指標	料金徴収率	%	達成率(%)	99	99	-
				目標値	277.0	277.0	277.0
	活動指標	給水原価	円	実績値	198.4	240.2	-
				達成率(%)	72	87	-
	算出根拠等			目標値			-
実績値						-	
算出根拠等			達成率(%)			-	
			目標値			-	
算出根拠等			実績値			-	
			達成率(%)			-	
補足事項							
平成18年度より取水から配水池までの施設管理を指定管理者制度で実施しており、今年度で7年目となるが、維持管理は順調に推移している。							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額		
	歳出(千円)		(A)	176,526	171,875	157,189	
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)		176,526	171,875	157,189	
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	一般財源						
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)	8,560	10,835	9,909		
	受益者 給水人口	(B)	20,622	15,863	15,863		

3 分析・評価(Check) ※平成23年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)			
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・安全安心な上水道ということについての市民ニーズは高く、安定的に必要性が認められる			
		B (1)	ある程度のニーズがある					
		C (0)	ニーズが低い					
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・安全安心な上水道の供給は市の重要な責務である			
		B (1)	一部見直しが必要である					
		C (0)	市が実施する必要性が低い					
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	A	・指定管理者制度による施設管理は順調に推移しており、高い水準での管理ができています			
		B (1)	目的とする成果がある程度あがっている					
		C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である					
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・指定管理者制度を活用し、効率的な施設管理を行っている ・料金収納業務等の外部委託化の可否について検討を行っている			
		B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている					
		C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である					
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B	・給水原価は全国平均を下回っており、概ね適正と言えるが、更なる効率化を目指す必要がある			
		B (1)	ある程度効果があった					
		C (0)	あまり効果が見られなかった					
合計		8	/	10	→	100点換算	80	点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)

安全安心な上水道を安定して供給するためには、安定した料金収入の確保が必要であり、料金の収納率向上を図る必要がある
安全安心な上水道供給のため、施設修繕による延命化を図る

(参考) H23事業評価結果(二次評価)

・水道使用者の不公平感を招かないためにも、未納対策は徹底して行う必要がある。

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況

料金の収納率向上に向け、給水停止を含めた滞納整理の強化を図っている
漏水調査等の実施により、修繕が必要な箇所を把握し、効率的な施設運営につなげる

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H24完了予定
	・安全安心な上水道の供給のため、施設修繕による延命化を図る ・水道料金の収納率向上により歳入を確保する				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H24完了予定
	・計画的な施設修繕の実施により、施設の延命化を図る必要がある。 ・水道使用者の不公平感を招かないためにも、未納対策は徹底して行う必要がある。 ・水道ビジョンに基づく平成26年度までの上水道事業への段階的統合を進めるため、資産台帳整備や水源・施設の統廃合などの調整を着実に進める必要がある。				

平成24年度事業評価シート

事業名	11100	営業費用(原水浄水費、配水及び給水費、総係費、減価償却費他)	担当課	水道部 上水道課			内線
	16						2254
予算	会計	16	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	
	款	1		分野	5	上・下水道	
	項	1		基本施策	1	安全で安心な水を安定して供給する	
	目			施策	3	経営の安定	
根拠計画		高山市水道ビジョン、高山市水道事業整備5か年計画					
実施計画事業		水道施設等管理事業、水道施設維持修繕・改修事業					
市長公約		6 市民の生活と生命・財産を守ります ・安全安心な上水道を提供するため、施設の整備を加速するとともに、未給水地域の解消に努めます。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上水道利用者全員	対象者数	76,187 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・安全で安心な水を安定して供給する		
概要	事業の実施手法(手段)	・取水から配水池までの管理は指定管理者が実施し、配水管以降は市が管理する ・予防的な修繕等の実施により、施設の延命化を図り、経費の縮減を目指す		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23の実績		水道料金現年度分収納率 99.1% 指定管理委託料 253,000千円 浄水場施設修繕 8件 17,553千円、配給水管修繕 147件 21,228千円、ポンプ修繕 4件 4,562千円				
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24
	活動指標	水道普及率	%	目標値	100	100	100
				実績値	99	99	-
	算出根拠等	現在給水人口/行政区内人口		達成率(%)	99	99	-
				目標値	74,660	77,550	77,550
	成果指標	給水人口	人	実績値	71,599	76,187	-
				達成率(%)	96	98	-
	算出根拠等	現在給水人口		目標値	100.0	100.0	100.0
				実績値	99.4	99.1	-
	成果指標	料金徴収率	%	達成率(%)	99	99	-
				目標値	167.7	167.7	167.7
	活動指標	給水原価	円	実績値	115.3	129.0	-
				達成率(%)	69	77	-
	算出根拠等			目標値			
実績値						-	
算出根拠等			達成率(%)			-	
			補足事項				
平成18年度より取水から配水池までの施設管理を指定管理者制度で実施しており、今年度で7年目となるが、維持管理は順調に推移している。							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額		
	歳出(千円)		(A)	786,076	941,264	938,463	
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)		786,076	941,264	938,463	
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	一般財源						
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	10,979	12,355	12,318	
	受益者	給水人口	(B)	71,599	76,187	76,187	

3 分析・評価(Check) ※平成23年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)			
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・安全安心な上水道ということについての市民ニーズは高く、安定的に必要性が認められる			
		B (1)	ある程度のニーズがある					
		C (0)	ニーズが低い					
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・安全安心な上水道の供給は市の重要な責務である			
		B (1)	一部見直しが必要である					
		C (0)	市が実施する必要性が低い					
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	A	・指定管理者制度による施設管理は順調に推移しており、高い水準での管理ができています			
		B (1)	目的とする成果がある程度あがっている					
		C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である					
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・指定管理者制度を活用し、効率的な施設管理を行っている ・料金収納業務等の外部委託化の可否について検討を行っている			
		B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている					
		C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である					
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B	・給水原価は全国平均を下回っており、概ね適正と言えるが、更なる効率化を目指す必要がある			
		B (1)	ある程度効果があった					
		C (0)	あまり効果が見られなかった					
合計		8	/	10	→	100点換算	80	点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が重要なかを記入)	安全安心な上水道を安定して供給するためには、安定した料金収入の確保が必要であり、料金の収納率向上を図る必要がある 安全安心な上水道供給のため、施設修繕による延命化を図る
---------------------------------------	---

(参考) H23事業評価結果(二次評価)	・水道使用者の不公平感を招かないためにも、未納対策は徹底して行う必要がある。 ・料金賦課及び徴収業務の委託化について検討する必要がある。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	料金の収納率向上に向け、給水停止を含めた滞納整理の強化を図っている 漏水調査等の実施により、修繕が必要な箇所を把握し、効率的な施設運営につなげる
-----------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H24完了予定
	・安全安心な上水道の供給のため、施設修繕による延命化を図る ・水道料金の収納率向上により歳入を確保する				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H24完了予定
	・計画的な施設修繕の実施により、施設の延命化を図る必要がある。 ・水道使用者の不公平感を招かないためにも、未納対策は徹底して行う必要がある。 ・料金賦課及び徴収業務の委託化について検討する必要がある。				

平成24年度事業評価シート

事業名	21100	原水及び浄水施設費	担当課	水道部 上水道課		内線 2254	
	枝番						
予算	会計	16	水道事業会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	1	資本的支出		分野	5	上・下水道
	項	1	建設改良費		基本施策	1	安全で安心な水を安定して供給する
	目	1	原水及び浄水施設費		施策	2	給水施設の整備
根拠計画		高山市水道ビジョン、高山市水道事業整備5か年計画					
実施計画事業		丹生川ダム建設事業、配水池耐震化整備事業、宮水源紫外線処理施設整備事業					
市長公約		6 市民の生活と生命・財産を守ります ・安全安心な上水道を提供するため、施設の整備を加速するとともに、未給水地域の解消に努めます。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上水道利用者全員	対象者数	76,187 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・安全で安心な水を安定して供給する		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・原水の取水設備、浄水設備の整備を行う ・岐阜県が建設する丹生川ダムの水を利用するため、建設に伴う負担金を支出する ・配水池、ポンプ場等の耐震化整備を行う ・高度浄水施設整備として、宮水源に紫外線処理施設を整備する 		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23の実績		上野浄水場次亜注入設備更新工事 一式 下切取水場揚砂装置電動弁更新工事 一式 大萱配水機場増圧ポンプユニット更新工事 一式 丹生川ダム建設費負担金				
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24
	活動指標	水道普及率	%	目標値	100	100	100
		実績値		99	99	-	
	算出根拠等	現在給水人口/行政区内人口	達成率(%)	99	99	-	
	成果指標	給水人口	人	目標値	74,660	77,550	77,550
		実績値		71,599	76,187	-	
	算出根拠等	現在給水人口	達成率(%)	96	98	-	
	成果指標	水道施設耐震化率	%	目標値	100.0	100.0	100.0
		実績値		72.0	79.0	-	
	算出根拠等		達成率(%)	72	79	-	
	算出根拠等		達成率(%)				
補足事項							
各種計画に基づいた施設整備を着実に実施している							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額		
	歳出(千円)		(A)	14,780	30,700	34,766	
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)		14,780	30,700	34,766	
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	一般財源						
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	206	403	456	
	受益者	給水人口	(B)	71,599	76,187	76,187	

3 分析・評価(Check) ※平成23年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・安全安心な上水道ということについての市民ニーズは高く、安定的に必要性が認められる	
		B (1) ある程度のニーズがある			
		C (0) ニーズが低い			
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・安全安心な上水道の供給は市の重要な責務である	
		B (1) 一部見直しが必要である			
		C (0) 市が実施する必要性が低い			
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進めており、目的とする成果があがっている	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている			
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である			
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・工事にあたっては、コスト縮減を図っており、施設の統廃合等も視野に入れ、効率的な施設整備を行っている	
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている			
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である			
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・市長公約である「安全安心な上水道の提供」の実現に効果があった	
		B (1) ある程度効果があった			
		C (0) あまり効果が見られなかった			
合計		9 / 10	→	100点換算	90 点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)
平成27年度の簡易水道全統合を控え、更に効率的な施設となるよう、水需要の見極めと管理コストの縮減につながるような施設等の統廃合を進める必要がある

(参考) H23事業評価結果(二次評価)
・企業会計の独立採算性の原則に基づき、長期的視点にたった財政推計、受益と負担のバランス、最小費用で最大効果をもたらす手法の選択などに最大限配慮したうえで、施設の整備・更新を行う必要がある。
・外国資本などによる森林売買が社会的問題となっており、水源の安定的利用を妨げられないよう保全に努める必要がある。

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況
上野浄水場PAC注入設備更新や松倉配水池ポンプ制御盤更新等、設備や機器の更新により、安全安心な上水道の供給に努める

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H24完了予定
	総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進める 配水池等の耐震化事業を実施するとともに、老朽化した機器等を更新し安全安心な上水道の供給に努める				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H24完了予定
	・外国資本などによる森林売買が社会的問題となっており、水源保全のための方策を検討する必要がある。				

平成24年度事業評価シート

事業名	21200	配水施設拡張費	担当課	水道部 上水道課		内線 2254
	枝番					
予算	会計	16	水道事業会計	総合計画	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	1	資本的支出		分野	5 上・下水道
	項	1	建設改良費		基本施策	1 安全で安心な水を安定して供給する
	目	2	配水施設拡張費		施策	2 給水施設の整備
根拠計画		高山市水道ビジョン、高山市水道事業整備5か年計画				
実施計画事業		配水管拡張整備事業、錦山配水区域等再編事業、水道未普及解消事業、上野地区配水施設整備事業、水道統合整備事業				
市長公約		6 市民の生活と生命・財産を守ります ・安全安心な上水道を提供するため、施設の整備を加速するとともに、未給水地域の解消に努めます。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上水道利用者全員	対象者数	76,187 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・安全で安心な水を安定して供給する		
概要	事業の実施手法(手段)	・配水施設の拡張整備を行う ・錦山配水区域等再編、上野地区配水施設整備等、配水施設の拡張を伴う整備を実施する ・水道未給水地域解消のための助成制度に基づき、配水管整備を実施する		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23の実績		錦山配水区域等再編事業 配水管布設 L=4,799m、配水機場敷地造成工事 一式、配水池敷地造成工事 一式 一般受託工事 L=282m				
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24
	活動指標	管路整備延長	m	目標値	4,480	3,810	960
				実績値	2,725	5,478	-
		算出根拠等		達成率(%)	61	144	-
	成果指標	給水人口	人	目標値	74,660	77,550.0	77,550
				実績値	71,599	76,187.0	-
		算出根拠等	現在給水人口	達成率(%)	96	98	-
	成果指標	水道普及率	%	目標値	100.0	100.0	100.0
				実績値	99.8	99.8	-
		算出根拠等	現在給水人口/行政区域内人口	達成率(%)	100	100	-
				目標値			
				実績値			-
				算出根拠等	達成率(%)		-
				目標値			
			実績値			-	
			算出根拠等	達成率(%)		-	
補足事項							
各種計画に基づいた施設整備を着実に実施している							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額		
	歳出(千円)		(A)	59,271	369,543	530,670	
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)		59,271	369,543	530,670	
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	一般財源						
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	828	4,850	6,965	
	受益者	給水人口	(B)	71,599	76,187	76,187	

3 分析・評価(Check) ※平成23年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・安全安心な上水道ということについての市民ニーズは高く、安定的に必要性が認められる	
		B (1) ある程度のニーズがある			
		C (0) ニーズが低い			
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・安全安心な上水道の供給は市の重要な責務である	
		B (1) 一部見直しが必要である			
		C (0) 市が実施する必要性が低い			
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進めており、目的とする成果があがっている	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている			
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である			
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・工事にあたっては、コスト縮減を図っており、施設の統廃合等も視野に入れ、効率的な施設整備を行っている	
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている			
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である			
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・市長公約である「安全安心な上水道の提供」の実現に効果があった	
		B (1) ある程度効果があった			
		C (0) あまり効果が見られなかった			
合計		9 / 10	→	100点換算	90 点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)
平成27年度の簡易水道全統合を控え、更に効率的な施設となるよう、水需要の見極めと管理コストの縮減につながるような施設等の統廃合を進める必要がある

(参考) H23事業評価結果(二次評価)
・企業会計の独立採算性の原則に基づき、長期的視点にたった財政推計、受益と負担のバランス、最小費用で最大効果をもたらす手法の選択などに最大限配慮したうえで、施設の整備・更新を行う必要がある。
・未給水区域の解消を図っていく必要があるが、助成の条件等を十分検討し、給水後の財政負担のリスク最小化に努める必要がある。

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況
錦山配水区域等再編事業の推進により安全安心な上水道の供給に努めるとともに、未普及地域を解消するよう要綱の改正に取り組む

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H24完了予定
	総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進める 錦山配水区域等再編事業の推進により安全安心な上水道の供給に努めるとともに、未普及解消事業を推進し未普及地域の解消に努める				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H24完了予定
	(担当課評価に同じ)				

平成24年度事業評価シート

事業名	21300	施設改良費	担当課	水道部 上水道課		内線 2254	
	枝番						
予算	会計	16	水道事業会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	1	資本的支出		分野	5	上・下水道
	項	1	建設改良費		基本施策	1	安全で安心な水を安定して供給する
	目	3	施設改良費		施策	2	給水施設の整備
根拠計画	高山市水道ビジョン、高山市水道事業整備5か年計画						
実施計画事業	配水管布設替事業、送水管布設替事業、老朽管対策整備事業						
市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります ・安全安心な上水道を提供するため、施設の整備を加速するとともに、未給水地域の解消に努めます。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上水道利用者全員	対象者数	76,187 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・安全で安心な水を安定して供給する		
概要	事業の実施手法(手段)	・配水施設の改良整備を行う ・送水管布設替事業(城山～坂口)等、送水管、配水管等の施設改良整備を実施する		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23の実績		坂口～城山間基幹管路耐震化整備事業 L=937m、老朽管対策整備事業 L=232m 上野地区配水管布設替 L=1,562m、下水関連布設替 L=560m、道路改良等に伴う布設替 L=1,210m				
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24
	活動指標	管路改良延長	m	目標値	2,900	5,300	2,095
				実績値	2,888	4,501	-
		算出根拠等		達成率(%)	100	85	-
	成果指標	給水人口	人	目標値	74,660	77,550	77,550
				実績値	71,599	76,187	-
		算出根拠等	現在給水人口	達成率(%)	96	98	-
	成果指標	水道普及率	%	目標値	100.0	100.0	100.0
				実績値	99.8	99.8	-
		算出根拠等	現在給水人口/行政区域内人口	達成率(%)	100	100	-
				目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			
			実績値			-	
	算出根拠等		達成率(%)			-	
補足事項							
各種計画に基づいた施設整備を着実に実施している							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額		
	歳出(千円)		(A)	256,043	268,606	268,147	
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)		226,043	268,606	168,147	
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)		30,000		100,000	
	一般財源						
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	3,576	3,526	3,520	
	受益者	給水人口	(B)	71,599	76,187	76,187	

3 分析・評価(Check) ※平成23年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・安全安心な上水道ということについての市民ニーズは高く、安定的に必要性が認められる	
		B (1) ある程度のニーズがある			
		C (0) ニーズが低い			
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・安全安心な上水道の供給は市の重要な責務である	
		B (1) 一部見直しが必要である			
		C (0) 市が実施する必要性が低い			
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進めており、目的とする成果があがっている	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている			
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である			
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・工事にあたっては、コスト縮減を図っており、施設の統廃合等も視野に入れ、効率的な施設整備を行っている	
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている			
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である			
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・市長公約である「安全安心な上水道の提供」の実現に効果があった	
		B (1) ある程度効果があった			
		C (0) あまり効果が見られなかった			
合計		9 / 10	→	100点換算	90 点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)

平成27年度の簡易水道全統合を控え、更に効率的な施設となるよう、水需要の見極めと管理コストの縮減につながるような施設等の統廃合を進める必要がある

(参考) H23事業評価結果(二次評価)

・企業会計の独立採算性の原則に基づき、長期的視点にたった財政推計、受益と負担のバランス、最小費用で最大効果をもたらす手法の選択などに最大限配慮したうえで、施設の整備・更新を行う必要がある。

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況

坂口～城山間基幹管路耐震化整備事業をはじめ、老朽管対策事業や道路改良に伴う布設替等の実施により安全安心な上水道の供給に努める

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H24完了予定
	総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進める 坂口～城山間基幹管路耐震化整備事業や老朽管対策事業の推進により安全安心な上水道の供給に努める				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H24完了予定
	・耐震化に関する計画策定の検討など、計画的な耐震化に向け取り組む必要がある。				